

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の主な取組状況について

戦略2 国内外に打って出る攻めの農林水産戦略

◆ 主な数値目標：

○ 農業法人数 H27目標値 560法人 → H27実績 548法人 ○ 主な園芸作物の販売額 H27目標値 15,750百万円 → H27実績 14,420百万円 ○ 素材生産量 H27目標値 1,065千㎡ → H27実績 1,239千㎡

<平成27年度の主な取組状況>

1 “オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大

- ・園芸メガ団地の整備を4地区（秋田市、にかほ市、由利本荘市、横手市）で着手したほか、オール秋田体制の生産振興・産地活性化対策の実施により「えだまめ」が東京都中央卸売市場で出荷量日本一（H27年7～10月）を達成、新たな県産牛ブランド「秋田牛」の首都圏著名飲食店でのメニュー化等の認知度向上対策を実施
- ・マーケットインの視点を重視した「農産物流通販売戦略」の策定と、統一キャッチコピー作成や「あきたの極上品」等の認定制度など県産農産物の販売体制を強化

2 秋田米を中心とした水田フル活用の推進

- ・H27年度デビューの新品種「秋のきらめき」・「つぶぞろい」や「極上あきたこまち」等の差別化商品づくりと販売促進を展開、コシヒカリを超える極良食味米の開発推進
- ・飼料用米の県奨励品種「秋田63号」種子の安定供給体制構築と多収性専用品種による低コスト安定生産技術の実証、ほ場整備の着実な実施

3 付加価値と雇用を生み出す6次産業化の推進

- ・6次化サポートセンターと振興局サポートチーム設置によるワンストップの相談・指導体制の整備、農林漁業者と2次・3次産業事業者の異業種交流会開催（県域・ブロック別）

4 地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成

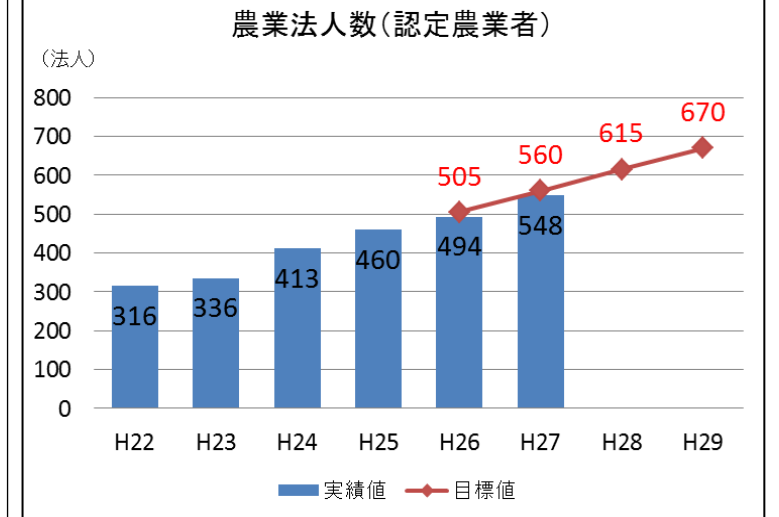
- ・意欲ある経営体が規模拡大や複合化等により経営発展を加速する取組に対して機械・施設導入等を支援（47経営体）、農地中間管理機構の活用による3,679haの農地集積を達成

5 全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進

- ・首都圏での販売促進に向けたプロモーション活動や木材利用ポイント制度等による県産材需要拡大対策を展開、H27年4月に開校した林業大学校での総合的林業技術研修(18名)

6 水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開

- ・特色ある水産物加工に取り組む事業者に対する機械導入を支援したほか、サケやマダイ等を活用した加工品開発や地魚加工推進員による販路開拓支援を実施



<平成27年度「提言」に対する平成28年度の主な取組状況>

【提言1】強い担い手づくりと新規就農の促進について

- ・農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化の更なる推進や、県外からの移住就農者を対象とした機械・施設整備等の初期投資軽減対策、複合や加工の新たな経営部門の開始や企業の農業参入に必要な機械・施設の整備支援

【提言2】複合型生産構造への転換の加速化について

- ・園芸メガ団地に加えて複数の団地を組み合わせる販売額1億円を目指す新たなタイプの園芸拠点を全県域に展開、「秋田牛」の認知度向上のため首都圏でのPR活動強化と販路拡大に向けた輸出ルートの確立・定着、「秋田牛」ブランドを支える生産基盤の強化、飼料用米の多収性専用品種の種子確保と保管・流通体制の構築支援

【提言3】農林水産物の高付加価値化と流通販売対策の強化について

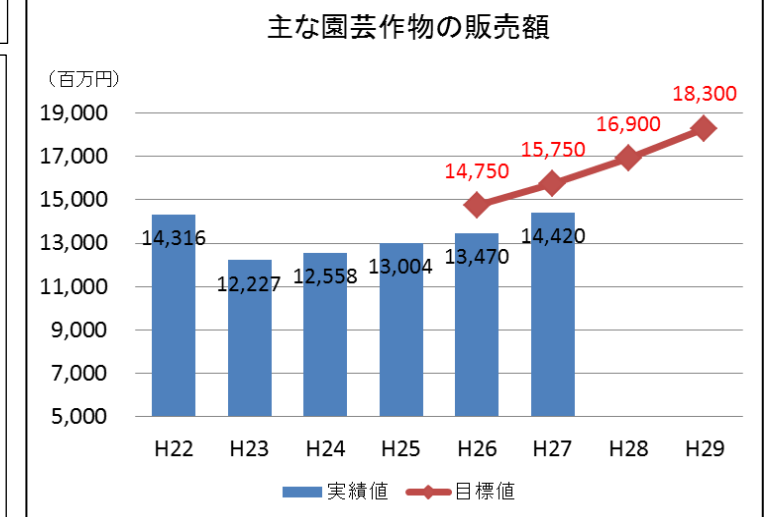
- ・農林漁業者と食品・観光等の異業種との連携した取組の支援、県民全体で本県農業を応援する機運を醸成するため県内メディア等と連携したキャンペーンの展開、首都圏における県産農産物の認知度向上・販売力向上を図るための多様なプロモーションの展開

【提言4】「ウッドファーストあきた」の推進による林業雇用の拡大について

- ・「ウッドファーストあきた」の推進による県産材需要拡大と、林業大学校における即戦力となる林業技術者の育成、体験型や実践型のインターンシップなど新たな就業促進対策

【提言5】県産水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開について

- ・水産資源の維持・増大を図るため主要魚介類の種苗生産・放流に加え新たにキジハタを種苗生産、水産コーディネーター配置による実需者ニーズ把握と県産水産物の販路開拓



<今後の主な重点施策>

○ 強い担い手づくりと新規就農の促進

- ・「攻めの経営発展計画」策定とその実現に向けた経営規模拡大・多角化支援、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約の促進、県外からの移住就農者への支援強化

○ 複合型生産構造への転換の加速化

- ・メガ団地及びネットワーク型園芸拠点整備に取り組む大規模経営体の確保・育成、「秋田牛」のブランド確立に向けた認知度向上対策、米・えだまめ・果実・秋田牛・比内地鶏など秋田の強みを生かした農産物等の輸出対策、元気な中山間地域農業支援の展開、ほ場整備の着実な実施による水田農業の効率化・複合化とモミガラ補助暗渠等による水田畑地化対策、飼料用米への取組拡大対策

○ 農林水産物の高付加価値化と流通販売対策の強化

- ・異業種連携等による6次産業化の促進、首都圏での認知度向上プロモーションの展開、県民による県産農林水産物応援機運醸成に向けたマスメディアとの連携

○ 「ウッドファーストあきた」の推進

- ・木材利用ポイント事業・首都圏プロモーション等による県産材需要拡大、原木安定供給体制と加工流通施設の一体的整備、林業大学校及び高校生対象のインターンシップ等の新規就業対策

